

the kobekko  
no. 88  
august 1968

郷土を愛する人々の雑誌

# 神戸っ子

8



RKOISO

御木本真珠発明75周年

ブレスレットの楽しめる季節

真珠は

優しい手の動きに

最もふさわしい宝石

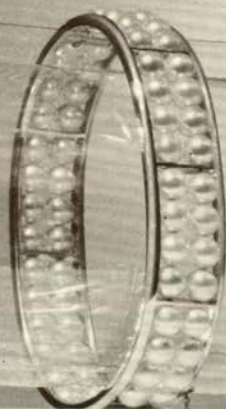
繊細な細工技術にかけては


定評のあるミキモトが

デリケートな真珠の輝きに

一層の美しさを

添えます



 御木本真珠店

神戸=三の宮・神戸国際会館 Tel. 22-0062

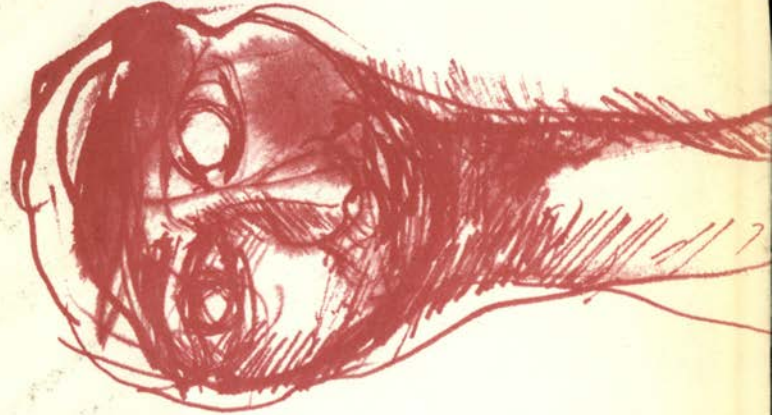
大阪支店=堂島・新大ビル Tel. 363-0247

京都=ミキモトパール京都(新門前通り)

都ホテル・京都ホテル・京都国際ホテル

大阪=阪神・高島屋・松坂屋 ©1988-8

★写真のブレスレット左より〈PD-27〉K14製 ¥80,000 〈PD-32〉K14製 ¥80,000



## 顔

絵・詩——津高一

美女もシコ女も　デブも細っちょよも　ものもちも貧乏人も　可愛い童女も  
シワ深い老女も　こんにちは　来歴は　顔を洗っても消えない　チエツ　と  
舌うちしても　それは　あなたの顔　わたしの顔

無数の顔が　無数の顔の中で　笑い顔をし　泣き顔をする　だが　こんど会  
ったとき　カッコよい顔などしないでくれ　そのままでもいいんだ　へんに身  
づくろいされると　きつとやりきれなくなるにきまってるからだ　まして  
世慣れた顔など　見たくもない　ありのままの　その顔でいいんだ　その顔  
でいいのである

美しさを創るオートクチュール

**マスター ニュートン**

神戸トアロード TEL (33) 1818

大阪阪神 TEL(361) 1201



# 神戸っ子'68

鈴木睦

万国博エスコ  
（トガイド）

千里丘陵は緑の街である。土塊を押しつけるブルドーザの背後には、輝かしい万国博の開幕が待ちうけている。鈴木睦さん。彼女は万国博のホステス役である。会場を訪ねる各国代表の案内や政府代表会議のホステス役を勤め会期中はナショナルデーなどで来日する外国賓客高官の接待にあたる。神戸女学院英文科卒。繊細な神経の持主で、眼が美しく印象的。大学時代はテニスをし、日本舞踊は十何年という熱心さ。

昭和四十一年度花のプリンセス。塩屋生まれ23才。現在、ニューヨーク滞在中。

写真左・グランドホテルにて 写真下・万国博会場模型を前にして



カメラ・奈良勝彦



# TASAKI PEARLS



海の宝石をモードの秋に

## 田崎真珠

本 社・神戸市葦合区旗塚通6-9  
三 宮 店・神戸新聞会館秀品店内  
パールファーム神戸・神戸市灘区六甲台町24  
銀 座 店・東京都中央区銀座西6-5  
パールファーム・溜池電停前(ショールーム)  
ヒルトン 店・東京ヒルトンホテル内  
オ ー タ ニ 店・ホテル・ニューオータニ内  
札 幌 店・札幌パークホテル内

あなたの真珠はパール・マークのお店で  
日本真珠小売店協会加盟店



# 神戸っ子'68

—河川竜夫

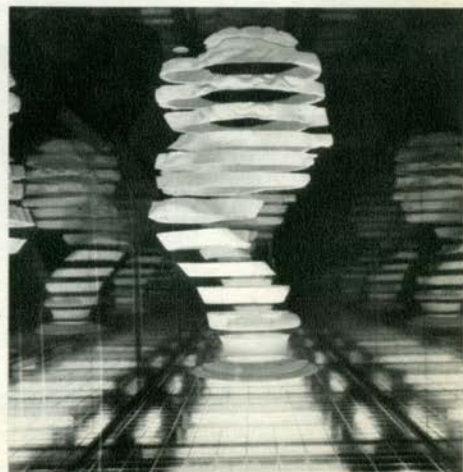
明石女子短大講師  
グループ・位所属

実体と非実体の間の世界にしか人間は生きられないのではないか、と問いかける河川竜夫氏は、自己の存在証明を作品を通じて見る者に語りかける。

「無限空間の中のオブジェとイメージの相関関係、またはからっぽの女」という長い題の作品は、「現代の空間'68展」で三洋現代美術賞を受けた。

時に埋没する自己を無限空間の中で客体代するのがねらい。グループ・位所属。個性絵画の否定を追求してきた。海外にも出品を約されている新人である。二十八才。神戸生まれ。

写真左・三洋電機にて、写真下・三洋現代美術賞を受けた作品



カメラ・奈良勝彦

KOTOBUKI'S *Moju Yokan*



# コトブキ 水ようかん



伝統と新らしさのみごとな調和を  
思わせるコトブキの水ようかん  
ツルリととける上品な甘さが  
やさしくお口にひろがります  
★ ひとつ ひとつぜいたくな材料を使い  
新らしい技術と細心の注意を  
はらって作られていますので  
どなたのお好みにもぴったりかと  
存じます 贈りものとしても風格ある  
コトブキの水ようかん

冷たくひやして ご賞味くださいませ

## 壽本舗

神戸市生田区北長狭通1-19  
TEL 神戸(078)-39-8681

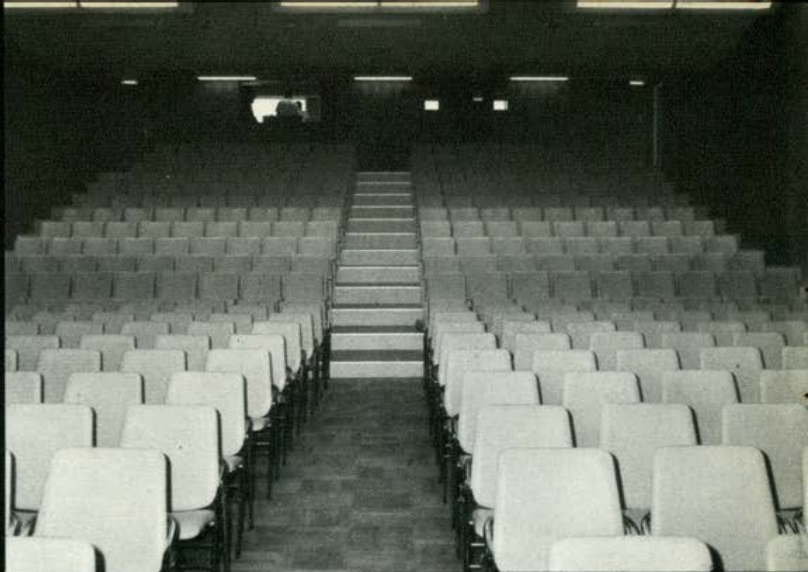




写真左は、県民会館の全貌

神戸は文化の都市である。兵庫県は文化の広域である。六甲は緑の街。兵庫県民、神戸っ子は憩いの場を求めている。

神戸に二つのビルが誕生した。六甲オリエンタルホテルと県民会



写真上は、400人程も収容できる県民会館のホール、9・10階にある

★コウベスナップ つどいの場・県民会館とやすらぎの場・六甲オリエンタルホテル

館のオープン。集会室と大ホール、特別会議室を持った集いの場。緑につつまれた六甲に佇む六甲オリエンタルホテルのやすらぎの場。神戸の文化の宿ができた。



写真左は、緑に囲まれた六甲オリエンタルホテル

写真下は、ゴージャスな六甲オリエンタルホテルのスカイレストラン



# 今月の店舗

喫茶モンレポ  
阪急苦楽園口



## ●設計企画MEMO

阪急苦楽園口という立地条件と9.5坪の空間にできるだけ経営単価をあげたいと思いましたが、カウンターを主に店舗を構成。主材は檜の使用で素材の簡素化と、素材の美しさ、さらに全店を明るくハイセンスなムードに仕上げました。

舶来ムード 照明の店

**モトデン**

本社★神戸市生田区元町6丁目26④4196  
工場★神戸市葺合区琴緒町1ノ10②8947

光のパイオニア

インテリア コンパニオン

**神戸日建**

建築設計施工 店舗改造  
神戸市生田区中山手通3丁目  
PHONE 22-7172・6052

**KOBE  
NIKKEN**

ある集い

「天秤」同人



「詩」によって結びついたのが、「詩」が外れた地点で出会ったものたちが、見よう見まねで「詩」を書きはじめたのか、いまになってみれば、もうはつきりとはしないようなグループ。

毎月一度は集まって、ある日は津高和一の画業に話題が傾き、ある日は足立巻一のさまざまな関西女人の探訪苦心談がとびだす。

たまたまこの日は、西宮の津高邸に集まった。大部分は肉体は老いかかったが、心は若い人に。忙しい時間をかきわけての数刻の会合であるだけに、喋ること喋ること。ここで蒸発した声が天までとどいて、やがて雨みたいに地上に降りかかったとき、「詩」が作られ、散文が書かれるのであろうか。算盤を忘れたようである。おしまいごろには機関誌の印刷代捻り出しに顔を寄せあっていた。(亜騎 保)写真右より・金坂郁美・亜騎保・静 文夫・板谷和雄・岡本甚一・米田 透・津高和一・三浦照子・伊田耕三・足立巻一(津高邸の庭にて)



村田\*真珠/銀座山岡\*毛皮/舶来婦人服飾



さんちか\*レディスタウン\*TEL 39-3886-7

オレンジのワンピースは  
南の島の夢をはこぶ……  
真夏のおしゃれの楽しさを  
ムラタのプレタポルテで…

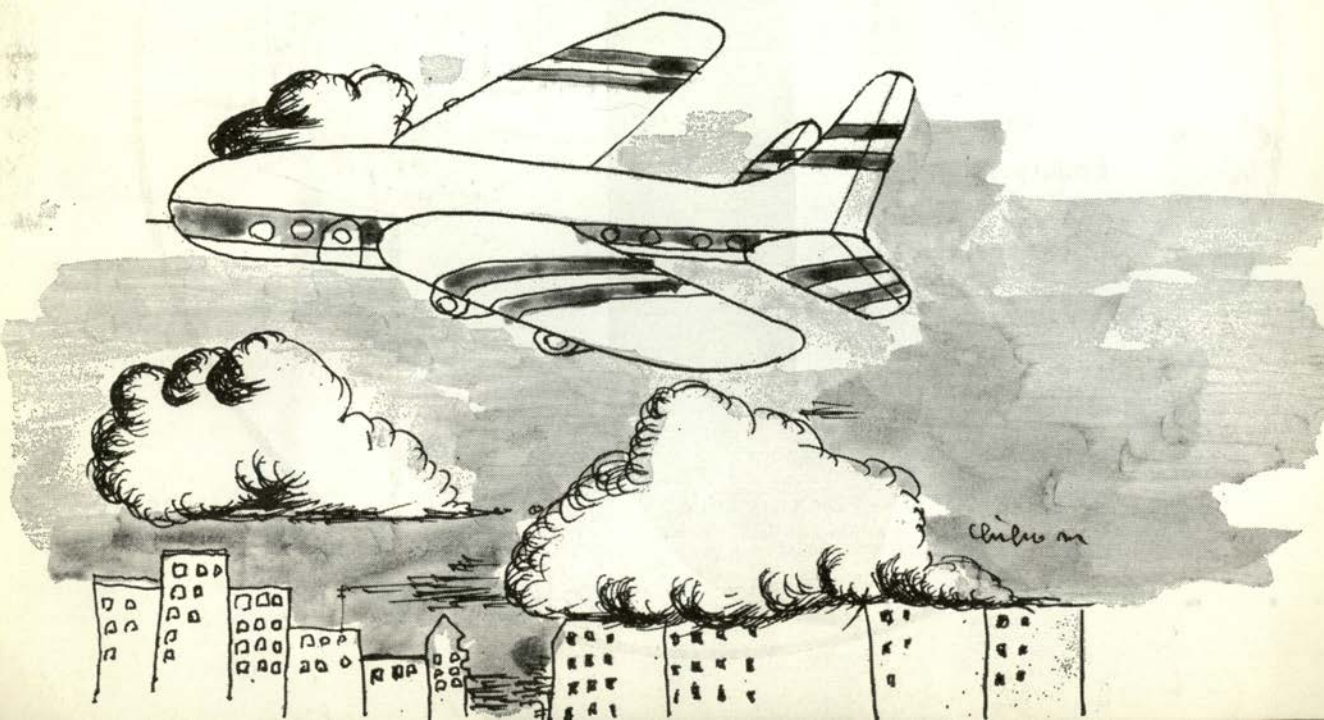


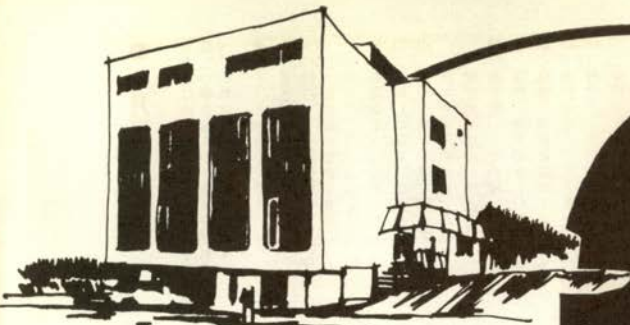
## ● 8月号目次 ●

これは神戸を愛する人々の手帖です。あなたのくらしに  
楽しい夢をおくる。神戸を訪れる人々にはやさしい道しる  
べ、これは神戸の子の手帖です。

表紙——小磯良平

- 1 Second Cover / 津高一  
3 神戸の子 ⑧ / 撮影 奈良勝彦  
④ 鈴木睦・② 河口竜夫  
7 コウベ・スナップ / 県民会館六甲オリエンタルホテル竣工  
ある集い / 「天秤」同人  
9 わたしの意見 / 佐野雄一郎  
13 随想三題 / ガラン村人帖・由谷卓也  
15 ヨーロッパの女性 / 畑尾宇多子  
髪をたち切る / 中島嘉子  
ある集い・その足あと / 「天秤」  
21 随想 / 神戸の新しい世紀に向けて・小野一夫  
23 随想 / 場所と文学・小松左京  
25 連載随想・Rocking Chair / 神戸で初めての映画・十河敏  
29 神戸の子対談 / 小西一夫・上島連司  
33 経済ポケットジャーナル  
34 連載マンガ / 傘 ② 岡田淳  
37 技術ジャーナル / 諸岡博照  
38 神戸のアーバンデザイン / 水谷顕介  
40 神戸のモダンリビング / チームUR  
42 CINEMA ⑧ / 淀川長治  
44 神戸遊戯誌 ⑩ / キャンピング / 青木重雄  
48 神戸の集いから  
49 マダム・ド・コウベ ⑤ / 柴田旭堂さん / 竹田洋太郎  
50 動物園飼育日記 ⑩ / 亀井一成  
54 神戸百店会だより  
56 PORT LOOK / 福富芳美  
58 ある日ある時 / カメラ・米田定蔵  
65 自動車特集 ① 座談会 / 車の旅・味の旅  
73 新谷秀雄・諸岡博照・星住輝子・川口陽之  
88 自動車特集 ② アンケート・ドライブうまいもん  
96 リラックスインタビュー ⑤ / フリーテンと画家 / 向井修二  
100 ポケットジャーナル・花時計  
110 連載物語第十一回・非悪童物語 / 足立巻一  
119 連載小説 / 兵庫の女 ⑧ 三十回 / 武田繁太郎  
こころへ・ろまん ⑤ / 文・陳舜臣 / カメラ・種方しげを  
カメラ / 米田定蔵 / 奈良勝彦  
レイアウト・カット / 港野千穂



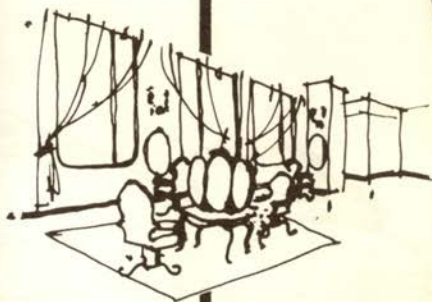


真夏のKOBEB北野町にモダンな  
びゅーていさろんblue akiraが  
8月13日にオープンいたします。  
港をのぞむ3階建の白い館の  
1階は、西野明のオリジナル・ヘヤー・モード・サロン  
2階は、フィンランドメトス社のサウナと  
美容体操ルーム。  
あなたを“美しく若々しいレディ”にと心をこめて  
レイアウトしたムーディーなビューティサロンです。  
いままでお引立ていただいた  
三宮店 rose akira とともに  
末長くご利用くださいませ。

beauty salon  
ブルーあきら  
*blue*  
akira

神戸市生田区北野町3丁目65-3

三宮店  
rose akira 三宮本通り浜側  
PHONE 33-4461・6458



「あきらの会」会員募集！  
「あきらの会」はびゅーていさろんblue akiraの誕生を機会にお客さまのご便宜をはかるために組織された会員制のクラブです。詳細はrose akiraへ。人数に限りがありますのでお早目にお申込みくださいませ。

「山、海に行く」神戸  
の未来にかける夢



佐野雄一郎

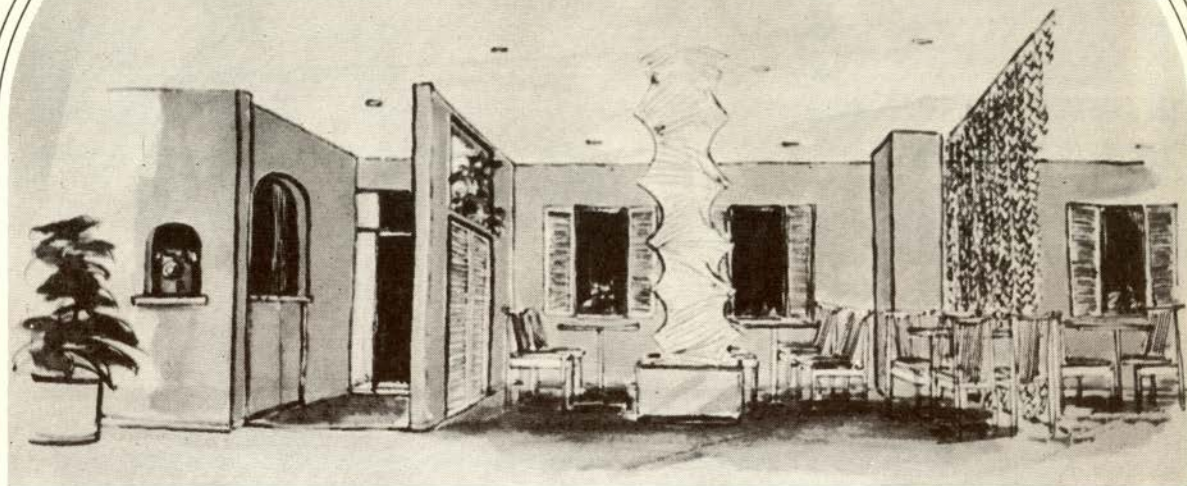
〈神戸市臨海開発局長〉

——神戸市の埋立事業のキャッチフレーズである「山、海に行く」を簡単に説明して下さい。

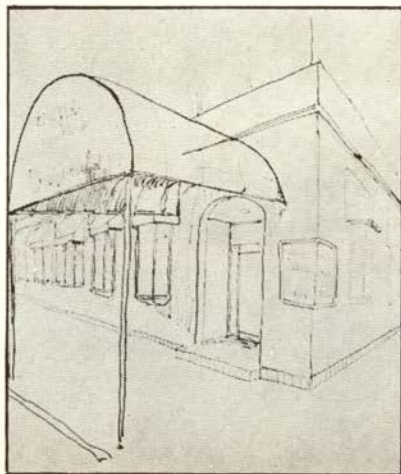
「神戸の今までの発展は、産業が海運、造船、製鉄など特定の業種にかたよりすぎた傾向がありました。しかしこれは神戸の経済が不安定ですので、神戸の将来を考えますと、より多くの産業を興す必要があるのです。そのためには臨海工業地帯をつくらねばいけません。その土を確保することが問題でした。神戸の海は水深が深く他都市の臨海工業地のように、海底の土を吸い上げて埋立てするのでは、採算がはいません。そこで六甲山系の風化した花崗岩の山土を利用することになりました。その運搬方法としては工学博士の市長のアイデアで住吉川の専用道路や、鶴甲山、須磨のベルトコンベアなど、全国で例がないものです。土質専門家の意見では、六甲山系特有の花崗岩は埋立て用の土としては最適で、すし、一方、六甲山系のコブは、大雨が降れば危険なので、切りとった方がよいのです。勿論、削ったあとは宅地に利用できません。現在のところ、六甲の美観を損うという批判が多いのですが、工事が終われば緑地を十分にとった団地や住宅地をつくる計画を持っております」

——神戸港の埋立て、並びに西神・北神の開発による神戸の位置づけは、どういうものになりますか。

「周知のことですが、阪神間に比べて神戸の西・北部の開発は確かに遅れていました。このアンバランスを是正し、市街地の過密化をpushするために、西神・北神の開発が必要なのです。西神にはすでに木工団地ができ、やがて工業団地ができる予定です。そうすれば、播州、西神北神、神戸、大阪が直結され、その要に位置する神戸は一大流通センターとして飛躍的發展を遂げるでしょう。これら西神北神の開発や、神戸の埋立事業については民間と市側の委員会を作って、緻密な計算と周到な計画に基いて実行しており、都市改造の試金石として全国的に注目されているところです。将来の神戸の發展を約する価値ある仕事に携われて、非常に幸せですね」

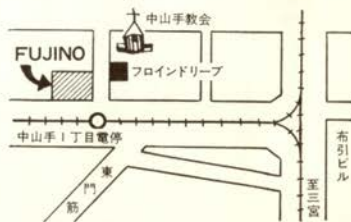


エキゾチックな街  
 KOBE 中山手に  
 シックな  
 ご家族団らんと  
 いこいの場として  
 グリルとコーヒの  
 FUJINOが8月中旬に  
 開店いたします  
 味とムードを  
 ご批判ください



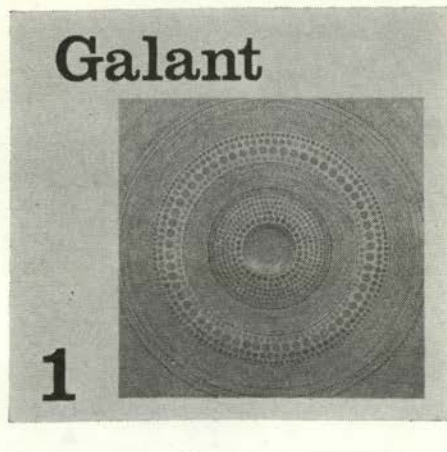
*Grill & Coffee*  
**FUJINO**

神戸・中山手1丁目電停前  
 PHONE: 23—6566





## 随想 三題



来ている。その上へ麦藁を被ってガランの打ち合わせに現われるようになったのである。惜しいことだ。土俗的な牧人のようだと思つたが僕は黙っていた。もつとも彼の詩のようにかすかに色気はあるが、これで農機具会社の重役なのだ。難解な人物である。

内海都子夫。以前の夏、ある若い詩人を紹介するために彼の画廊を訪れたが生憎不在であった。奥さんに教えてもらって行先へ廻ると、彼は半裸で大きな水を鋸で切っていた。「一年分の食べしろを夏に儲けますのや」

虚弱体質の僕は吃驚した。どこにボエジイがあるのか、これがボエジイそのものか。彼はいつも開け広げである。半面義理堅い。その後僕の紹介した男を編集に加えて「高砂文学」という雑誌を出しはじめていた。昔の話である。

小野田 実。彼が絵の制作にかかる時にはアトリエの隅から隅まで掃除をする。塵一つが気になるのである。丹念に掃除機をかける実はこれが彼の絵のメチエになっているのだ。ガランの表紙の絵をみればよく解る。掃除がすむと雑念を一切払って、近代絵画の流れのまっ只中に端座してベニヤ板の裁断にかかる。

竹広龍三。彼はその家の暗い庭に降りると山椒の葉っぱをちぎつ

## ガラン村人別帳

由谷卓也

△ガラン同人△

ガランは四月に一号を出した二号は、目下印刷中である。同人誌でもなく、商業誌でもないこのリトル・マガジンは、ガラン村のスタッフが制作発行している。雑誌そのものがボエジイを表現するメディアである、という考え方が

多少は珍らしがられている。播磨の田舎から出たことに驚いた人もあった。ガラン村の住人とはどんな男達か。そのスケッチをしてこの原稿の責を塞ぐことにする。

金田 弘。彼はこの間、奥さんと海水浴場へ行って麦藁帽を買った。(決して泳ぎに行つたのではない。瘦身の彼は恥ずかしがって他人の前では裸をみせない) 麦藁帽子を被つたのをみて

「遊び人みたい」

と売店の女の子がいったので買う気になった。ところが、もともと彼は独特の長髪をスタイルにしている。半分白髪が交って、逆三角形の顔は益々年輪と風格を帯びて

てきた。それを厨の水で濯いで酒の肴にした。酔うと僕たちを尻目に寝てしまった。決してノンシャランではない。清潔な疲れをそのイビキの中に聞いた。婦人服地の商法にポエジイを駆使する姿にはいつも驚嘆させられる。

僕の場合は省略、その代り、毎号の僕の詩を、賢明な読者諸君よご愛読を乞う。

さて、村長不在のガラン村は、何市何町何番地にあるのか、おたずねになりたい方は、筆者宛一報されたい。いつでも道案内をさせていただきます。

## ヨーロッパの女性

畑尾 宇多子

ハエリザベス美容室(ヘアー・デザイン)

私は三月二十五日から四月十七日までの間、美容研究のため、ヨーロッパへ参りました。何分初めての海外旅行ですから、見るものすべてが珍らしく、興味深うございました。美容師の私は、やはり目が、女性のヘアースタイルに向

けられます。

まず、ローマですが、ローマという町は、皆様もよくご存知のように、遺跡に囲まれた古い感じの町です。ところが、女性のメイキヤツプは、とても個性が強く、情熱的でした。ヘアースタイルは個性的で、人を惹きつけるようなものを持っていきます。フィリップポのサロンも見学しました。ここでは



▲ モーリス・フランク氏のサロン

ヘアはもちろんのこと、美顔術化粧品そして服装からアクセサリーにいたるまで、あらゆるものが、サロンにそろっています。女性が美しくなりたいという欲望に必要なものを全部満たしてくれるようなお店でした。服装品は、イタリイ調の原色を使ったものや、とてもサイケデリックなものが、つってあったりして、見ているだけで楽しい雰囲気でした。

ローマを後に、オーストリアの都ウィーンにも行ってみました。ここはローマと違って、町には近代的な建築があふれ、ウインドーも美しく飾られ、落ちついたムードがありました。町を歩いている女性も美しく、中年層のマダムはサロンでよく見かけるように、エレガントな感じを受けたものです。

目的はパリでは、二週間滞在しフランスでも有名な先生方のデモンストレーションを見せていただき、サロンへもおじゃましました。パリはやはりモードの都だけあって、町を行く人々の服装は、ヘアースタイルにいたるまでセンスが良く個性を充分に生かしています。ヘアースタイルなどは、どれを見ても、若い人は魅力的であり、中年の人は女らしさのあふれる、しかも、自然で、風にふかれてもまたそれなりに味わいのあるスタイルでした。皆様も、外国のヘア雑誌でもごらんになるように実物も、特に襟足が自然で、美しく感じられたのです。

ところで、パリのサロンですがやはり化粧品や全カツラ、アクセサリーなどが置いてありました。楽しむサロンといった感じですが私の店も早くそういう色々の楽しさのあるサロンにしたいと思っております。パリを離れた後は、ス

イスからロンドンへ参りました。ロンドンでは、カットで有名なヴィダルサッスーンのサロンへ行き



▲ スイスのホテルにて

ました。ここはカット専門のお店らしく、あっさりとしていて落ち着いた感じでした。美容師として、世界でも有名な先生方のデモンストレーションはもちろんですが、サロンも見学できたことは光栄だったと思います。これをきっかけに、又一段と頑張りたいと思っております。

## 髪を

### たちきる

中島 嘉子

△服飾デザイナー△

先日ふと思いついて、長い髪を切った。腰のあたりまであった髪を、ふと思いつきで切るなどということは普通ではあり得ないと友人は口々にいい、何かあったの？とせんさくめいた眼で私をみる。

私の髪は十年來長いままで束ねられて頭の上で身長にプラスをしていた。それが私のトレードマークでもあったので、頭をみて大いに驚いたらしい。モードの勉強をしているくせに、一向にそれらしいヘアスタイルにもせず和服も洋服も、果ては折角のカーニバルの仮装も、ひと目で見破られてしまった私の頭。

本当にお切りになるの？

いいのですね本当に。

鏡の中の私の目にいくつかの問いかけがある。

いいのよ本当に

耳に金属のふれるヒヤリとした冷たさ。おそらくは幼児の頃の記憶にしかない緊張感。私は思わず目を閉じた。ザリツとした音とともに、髪は切り離されてしまった。

も早やそれは私とは無縁のものとなって美容師の手からダラリと垂れ下り、一個の生命ある物のようであった。

髪に手をふれて、いつ迄も切らないで欲しいといった人。いつも同じ髪型であなたは頑固ね。といった人、髪の色が少なくて、あなたは薄倅だといった人。

ある夏の日の海で、海藻のように体中にまつわりついた髪、誰にも打ち明けられず、苦しみぬぎ、深更、長い髪をかき乱しながら泣いた古い昔の恋。

そんな過去の秘められた思いを、この長い髪は総べて知りつくしているようであった。

この春、初めて小さなアトリエを持った私に、世間は苛酷だった。覚悟の上とはいえ、次々と信頼が裏切りとなった時、あまりのことにもう喉の奥からは咽鳴さえ出ては来なかった。当然私には新しい生き方が必要であった。裏切りや苛酷を黙ってのみ下し、唇を引きしめる必要があった。私の過去のさまざまな情念や、人々への期待や甘え、などと縁を切ることであった。それには、私に残された唯一のエレガンス？として大切にしていた髪を、バツサリとたちきることが、過去への訣別だと考えた。

鏡の中の短くなった私の頭は子供のようになややかで、永年頭の重いのは脳の分量の多いセイだとうぬぼれば、一瞬にしてもろくもくずれ去り、平均以下のように大変心もとない。

それにしても、長い女の髪というのは、いずれの場合でも、不思議になまめかしく、ものがなしいと、切り捨てた髪への未練を、心の中でもう一度たち切った。

どうしてお切りになったの？  
失恋しましたの。

目下の私の答えに、人々は満足し、私はニヤリとしている。



ある集い  
その足あと

## 天秤グループ

『天秤』というのは詩を中心にした同人雑誌だが、その集いの母胎は昭和七年の『青騎兵』というから、まことに息の長いグループで、全国の同人雑誌グループでは珍らしいといわれる。

戦争中を除いて誌名は変わっても、集いをつづけ地味な活動を積み重ねて来たが、集いそのもので共通の文学的主張を行なったことはなく、芸術はあくまで個人の所産だから集積は個人詩集・著作で示すべきだとし『天秤』はその積み重ねの場として、ただ妥協のない作品を発表することだけを義務

にしているそうだと。

そうした営みのなかで、同人の過半数が五十代となり、ほとんどが詩集・著作を持つにいたったが、同人の全員が死に絶えるまで『天秤』は出しつづける約束になっていた。いるそうだから、ちょっとこわいみたいだ。一番長生きした者が大損ということにもなる。

それはともかく、雑誌は季刊として毎月集いをつづけている。三カ月のうち一回は編集・原稿を持ち寄って、その場で編集して印刷に回してしまふ。その日に間に合わなかったら翌号回し。ただし、同人費はガツチリ取り立てるといふから相当ガメツイ。つぎの集いは発送、残りの一回は合評と雑談というのが原則だといふ。

同人は現在十四人。職業は会社役員、サラリーマン、文筆業、書店経営者、教師、経理課長、商社雑貨部長、画家、のじぎく文庫編集長、エディターと雑多をきわめており、多忙な人が多いが集いの出席率は不思議によい。それも無断欠席は即刻除名という鉄則を設けていることにもよるだろうが、その集いに出るのが何より楽しくてくつろげるからだといふ話。

ところが、最近印刷代、送料は値上がりするし、雑誌をくれという希望が多く、それにこたえていては破産するといふので、発行

部数を縮小するハメになった。同人雑誌はタダで送るといふのが慣習になっているが、それは不合理というので、ほんとうに読んでほしい人たちだけに送ることにし、年間千円送ってくれるよう編集後記に書いたら、百十名の人々がこれに応じ、同人はびっくり仰天したといふ。

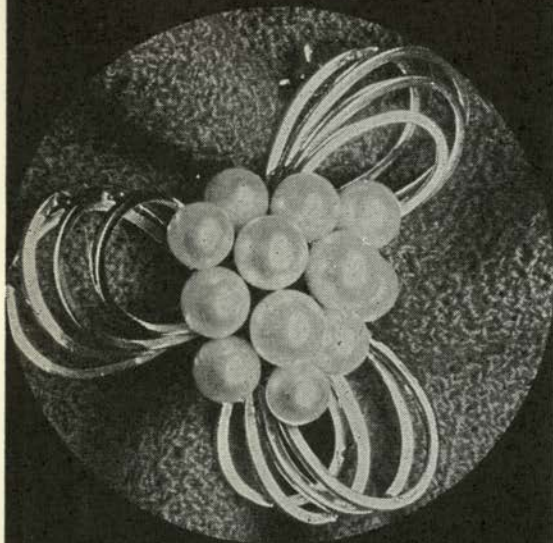
それで同人はその支援の人々を『天秤座のグループ』と呼んで、その厚意とのつながりを誌面や会合で何とか表現したいと、目下研究中とか。『天秤座』とは同名の星座の名にちなんだそうで、亜騎保編集長の命名だそうである。その実現を期待したいものだ。発行所は『宝塚市高司一丁目三〇五、天秤発行』へ関心の向きは申しこんでほしいとのこと。

この日の集いは、米田透氏が三十数年の詩作を結晶させた詩集『色彩風琴』出版前祝いの会で、会場は西宮市高木西町の津高一画伯邸。初夏の緑の芝生で輪になってしゃべりあい、スイカをばくついで屈託がなかった。東京勤務の秋原秀夫、広島在住の桑島玄二、入院中の田部信、出張中の宮崎修二郎の四氏を除いて、十人の同人が顔をそろえた。集いのち神戸労災病院入院中の田部信氏の病氣見舞に出かけた。

△グラビヤ9頁参照▽

*Kitamura Pearls*

世界の人々に愛される  
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL ③③ 0072

東京：スキヤ橋店 TEL<571>8032

3つの味

バニラ  
ストロベリー  
チョコレート



ヒロタの

シュアイスクリーム

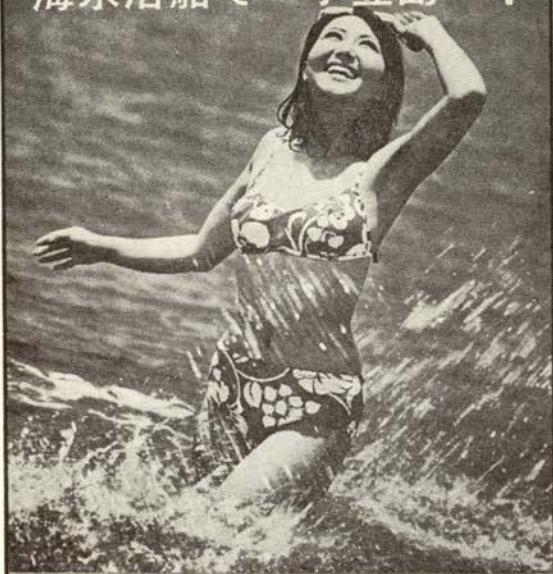
シュークリームとアイスクリームを  
プラスしたどこにもない3つの味  
ヒロタだけの夏の味覚です。

洋菓子のヒロタ

元町店 三宮店 さんちか店 秀品店  
33-2340 32-1227 39-3474 23-2312

**HOTLINE**

海水浴船で一小豆島へ!



増発便 7/20→8/26 連乗 470円 神戸発23時40分 土庄着 4時30分

- ★テント・バンガローの予約——中突堤案内所
- ★小豆島土庄着後各キャンプ場へ接続バスがあります

**加藤汽船**

神戸中突堤案内所 TEL (33) 8532・6615  
大阪弁天ふ頭案内所 TEL (572) 3031~3  
京阪神地区各旅行案内所へお問い合わせください

**CoolSix**

SUMMER CANDY

新製品!



クールなタッチのクールなキャンディ………  
クールシックスサマーキャンディ

チョコレート\*キャンデー

**ゴンチャロフ**

本社 神戸市生田区加納町4の1 TEL 99-2636  
直売店 さんちか・スイーツタウン TEL 99-3563